

松本エリアビジョン

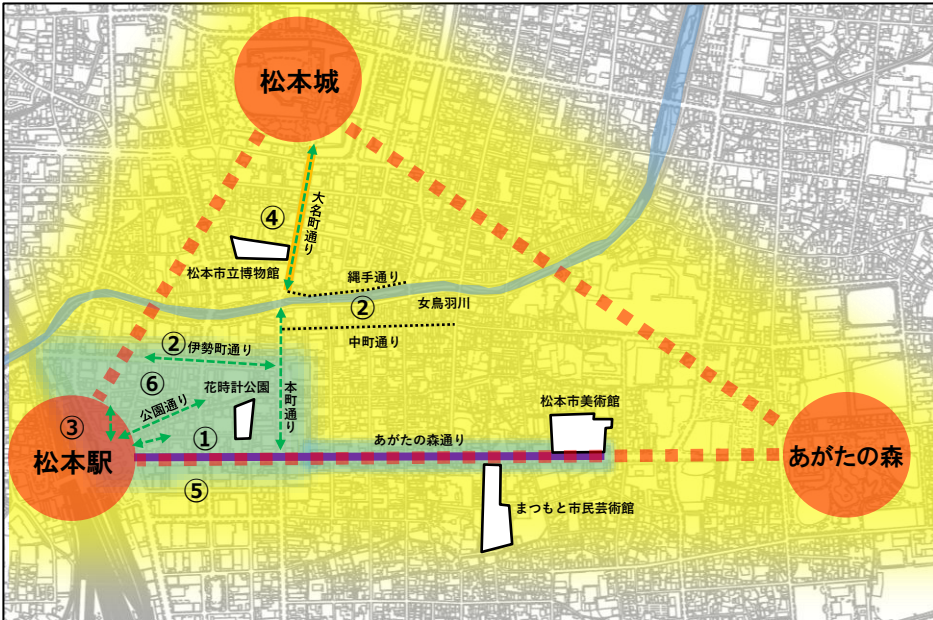
令和6年3月29日時点

将来のビジョン

中心市街地の骨格を形成し様々な都市機能を有する、松本城、松本駅及びあがたの森を結ぶトライアングルエリアとその周辺を、グリーンインフラの取り組みを先導的に進めるエリアと位置付け、自然環境が持つ多様な機能を活用した、地球にも人にもやさしいまちづくりを推進し、もっと心地よく、出かけたくなるまちの実現に向けた取り組みを進めます。また、トライアングルエリアでの実践で得たノウハウを、松本市全体に展開していきます。

主要プロジェクト

プロジェクト名	期待効果
地域と進める「緑と花のシンボリストリートデザイン」PJ	賑わい・快適性・環境・防災
松本駅前歩道再整備(県事業)連携PJ	賑わい・快適性・環境・防災
まちを快適に楽しむ「緑と水のくつろぎ空間ネットワーク」PJ	賑わい・快適性・環境・防災
まちなかの水に親しむ「憩いの水辺空間づくり」PJ	賑わい・快適性・環境・防災
自然とともに歩む「安全・快適のまちづくり」PJ	賑わい・快適性・環境・防災
市道緑化推進PJ、県道緑化推進PJ	賑わい・快適性・環境・防災



凡例	
- - - - -	対象エリア
← - - - - →	歩行者利便増進道路指定区間
	主要な施設
- - - - -	主要な通り

プロジェクト名	個別事業	番号	凡例	事業内容
地域と進める「緑と花のシンボリストリートデザイン」PJ	緑と花による新たなまちなか景観の創出と公民連携による「まちの緑との新たな関わり方」の構築	① ③		・歩道環境を考える検討組織の設置 ・地域と連携した植栽帯の管理
	維持管理に係る公民連携の取組	⑥		・ムクドリ対策に係る実証実験の実施
松本駅前歩道再整備(県事業)連携PJ	街路樹の見直しや歩道再整備と連携したGIの活用	①		・安全で快適な歩道環境の創出を検討
まちを快適に楽しむ「緑と水のくつろぎ空間ネットワーク」PJ	緑陰・芝生・水辺等を活用したくつろぎ空間を整備し、夏の暑さをしのぎながら、歩いて楽しめるまちなかを創出		市内	・シェードベンチ等の休憩スポットの設置 ・ほごみち指定区間での植栽コンテナによるくつろぎ空間の創出
まちなかの水に親しむ「憩いの水辺空間づくり」PJ	まちなかの水辺環境の改善や魅力向上に取り組み、多くの方が親しみを持って、水辺に関わる環境を創出		市内 ②	・伊勢町せせらぎ等の水辺環境改善とくつろぎ空間の創出 ・三の丸エリアビジョンと連携した女鳥羽川の新たな魅力づくり
自然とともに歩む「安全・快適のまちづくり」PJ	透水性舗装や雨庭等の整備に取り組み、雨水の河川への流入抑制や蒸発散効果による暑さ対策により、安全で快適なまちなかを創出		市内 ②	・浸透・貯留施設による河川への雨水流入を抑制 ・雨水の蒸発散効果による暑さ対策 ・防災ベンチの設置
市道緑化推進PJ	まちなかの緑地保全事業補助金の活用	④		・大名町通り（市道1059号線）シナノキの剪定、沿道への花植えに活用
県道緑化推進PJ	モデル路線における実証実験の実施	⑤		・国道143号の一部区間で緑陰創出につながる剪定を実施